



森ボラ 通信

第109号 2011年6月20日発行

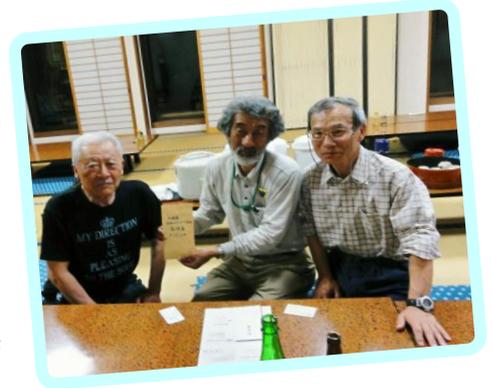
URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6ラルズビル3F

Tel.(fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

◆ 森は海の恋人植樹祭 —大震災犠牲者の鎮魂と海の復興を願って—

平成元年に始った「森は海の恋人植樹祭」も今年は23回目となりました。何事も無ければ例年の様に全国から大勢の人々が「ひこばえの森」に集い楽しい植樹祭が行われるはずでした。ところが、3月11日に起こった東日本大震災で発生した大津波はこの植樹祭の主催者である畠山重篤さんの養殖場のある気仙沼西舞根湾も襲い、牡蠣・ホタテの養殖イカダをはじめ工場のあらゆるものを飲み込み、植樹祭の資料や植樹祭で使っていた多くの大漁旗等も一緒に持って行ってしまいました。畠山さん達「海の民」は今年の植樹祭の開催は無理と思ったとのことですが、一方、植栽地のある大川の上流岩手県室根の「山の民」からこの様な時こそ復興を願って「植樹祭」を行おうとの話があり、畠山さんも思案の末やる元気を出されたとの事です。私は3年ぶりの再会でしたが、長い髭の下の顔はかなり疲れた様子が伺えました。この約3カ月非常に大変であったと思います。



植樹祭の前夜、私達は荻田が長年活動してきたボランティア「端数倶楽部」の仲間と一緒に民宿に泊まり一時を過しました。夜遅い時間になりましたが畠山重篤さんが宿の方に来て下さり、皆さんからの義援金をその場で贈呈することができました。

翌朝、植樹祭の行われる一関市室根の「矢越山ひこばえの森」に向かいました。車を降りてから手入れのされた杉林の間を30分ほど歩いて漸く植樹祭の会場に到着です。会場には何時に無く報道陣が多く、テレビの中継も行われるとの事。でも一般の参加者は例年よりも少なく600人位と感じられました。植樹祭は被災犠牲者への黙祷が捧げられ、始められました。でも全国から注目されている被災地のイベントであり、行事が多くいつもより長い時間を要しました。植樹は一人1本程度であり、我々は早々に植栽して山を降り車の置いてある水車まつりの会場で昼食のホタテ飯（水山養殖場手作り）を頂き、畠山さんの奥様にご挨拶して次の調査目的地仙台平野に向かいました。（記・荻田）



■ 現場より

◆ 国際森林年・CGCの森・オイスカ植樹祭

5月22日、CGCの森・オイスカ植樹祭が行われた。前日は、小糠雨が降る中マーキング等をした。

植樹祭当日は天候に恵まれ10時には80余名の参加者、開催式では主催者側から「CGCの森は国有地」であり、草木も含め、全てが国の財産であることを認識し、植樹が森になるには数十年を要するが自分が植樹した苗木の生長を見守ってほしいと話された。会員の棟方による植樹の実際が示

範された後、8班に分かれ植樹が実施された。参加者自ら苗木運搬、苗床造り、植樹がなされ、参加者の手捌き不如意であったが植樹した苗木の生長を願ったであろう事が感ぜられた。

植樹後、植栽地の中で協会理事の酒井からパネルを利用した協会の活動内容、苗木から森林への成長過程等の紹介がなされた。本年は国連が定めた国際森林年である。この植樹祭が時宜に適ったものであることを参加者と共有できたことは有意義であった。(記・小笠原)

◆ 活動報告・野幌国有林(6月11日・参加者12名)

野幌森林公園の活動地1.8haの下草刈りをしました。台風が来てからまもなく7年になりますが人力でチルホールなども使いながら地拵えから植栽そして下刈を続けてきましたが完全に森として自立成長できることが確信できるようになってきました。



写真をご覧ください。植えた木、自然に発生した広葉樹、元からあった太い木が狙い通りの競争、生長をしています。このトドマツはほかのトドマツより伸びています。それは後ろに見える残存木の陰に植えられたために光を求めて競争して他のトドマツより育っているようです。

「競争の無いところに成長はない」といわれますがこれは本来森林から来た言葉だと思われます。(記・酒井)

◆ アイケンの山、栗の木整理と竹の子狩り

5月28日(土)アイケンの山の栗の木整理と竹の子狩り、9時30分参加者は23名。普段は12~3名なのに竹の子狩りに釣られて参加したようである。この山の竹の子の旬は5月18日頃より5月25日頃である。今日は旬を3日程はずした様だが、充分採集出来ると思う。毎日、入れ替わり立ち代りするので、道端から5~7m辺りには竹の子はないと思う。30~50cmに伸びきった竹の子が目立つ。伸びきった物を20~25cm位の処から折り取る。商売用語で来折らいおりと言う。見た目は悪いが、下処理を上手にすると大化けする。そのまま茹でると乳酸が残って苦味を感じるので次の様に処理をする。

5リットル程の湯を沸かし、大匙1杯の重曹を入れ沸騰した中に竹の子を入れ12~15分茹で皮をむき、水に晒す。きれいな緑色に仕上がる。竹の子のサラダにする。

- ①「オーロラソース」トマトピューレ大匙2、マヨネーズ大匙3。竹の子を煮しめ切りしてつけて食べるか、1本まんまにつけて食べる。
- ②鮭の中骨の缶詰と合わせて炒める。竹の子を斜めに40~50cmの煮しめ切りにする。サラダ油大匙2杯程度で炒め缶詰1缶を入れ混ぜ合わせ、砂糖少々と醤油で味付けをする。各自の好み。以上午後からは栗の木の手入れ。昨年10月26日湿り雪のため栗の木の枝の始末は大変な仕事。7割程処理して終了。(記・湯澤)

■ ひとこま

◆ 林業担い手研修事業・基礎研修(森林整備基礎コース)受講レポート

5月26日から30日までの5日間、社団法人北海道造林協会 北海道森林整備担い手支援センターによって行われる森林整備基礎コース研修を受講しました。最初の4日間は座学で、前半2日間は北海道の林業一般に関する状況や課題、後半2日間はチェーンソーおよび刈払機を使った具体的な作業における注意事項とそれぞれの機械の取り扱いについての講義でした。最終日には実際に機械を使い、笹の刈払い、丸太の切断、それに伐倒の際の受け口作りの実習を行いました。

最初の林業一般の授業では、伐根直径30cm、高さ30mの立木で、丸太にした時の材積がおおよそ1m³になること、その位のサイズの木一本で売値が8千円から1万2千円になり、それに対して伐採・造材等の事業費が一本当たりおおよそ5千円かかること、森林を伐採した後には2年以内の造林が義

務付けられており、その際には地拵え・苗購入・植え付け・森林組合に支払う間雑費等で1ha 当たりおよそ42万円の費用が掛かること、などを学びました（現在はおよそ29万円の造林補助が出て、手出しはおよそ13万円/haになるそうです）。課題としては後継者問題・安全対策問題等が大きく、現在これらの解決策の一つとして、作業効率を従来に比べ大幅に上げる高性能林業機械が幾つも実用化されているそうです。いずれにしても、林業というのは手間とお金と根気の要る大変な仕事だと改めて感じました。森は木材生産にとどまらない役割をもち、次世代の環境保全にも繋がる大切なものなので、何とか守っていききたいという思いとともに、その難しさへの感慨も新たにしました。

チェーンソー・刈払機の取り扱いに関する授業では、まず何よりも安全が大切だということを繰り返して印象付けられました。そのために、服装その他の装備に関する注意事項、木を正しい方向へ伐倒するための技術と注意事項、刃をきちんと切れる状態に保つための目立ての仕方、守るべき安全距離や、「エンジンが掛かっている際には刃に触れない」「持ち運びの際には刃にカバーをかける」などの細かい注意事項について教わりました。

もう一つ大事なことは振動障害から身を守ることで、そのために、「使用の際には必ず防振手袋(軍手でも代用になるが必ず乾いたもの)を身につけること」「1日当たりの作業時間を守ること」などが大切だと教わりました。ただし刈払機については、短期間・一定面積の請負仕事の形で作業が行われる場合が多く、一人あたりの作業時間など守れないのが現状だと伺い、考えさせられました。何にしても、使わない知識や技術はすぐあやふやになってしまうので、今回公費で教わった貴重な事柄の数々を、機会があれば折々復習しつつ実践して行きたいと思っています。チェーンソーの安全距離は約2mと教わりましたが、私の場合男性陣よりも力が弱く、その分不意の反動には注意が必要かもしれませんので、私がチェーンソーを持っている時には、皆さん3m以内に近づかないようお願いいたします。(記・深町)



■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加人数	活動内容
5月19日(木)	リンゴ園 中止	中止	花摘み出来ず
5月19日(木)	澄川	2	苗畑灌水
5月21日(土)	CGCの森	15	植樹祭マーキング他準備
5月22日(日)	CGCの森	16	オイスカ、ユネスコ植樹祭
5月24日(火)	リンゴ園	6	花摘み
5月25日(水)	澄川	13	薪割り作業
5月27日(金)	リンゴ園	6	花摘み
5月28日(土)	アイケンの森	22	竹笹採取、栗の雪折れ枝整理
5月30日(月)	リンゴ園	6	花摘み
5月31日(火)	西野第二	13	アカシア萌芽処理(最終作業)
6月3日(金)	リンゴ園	5	花摘み
6月4日(土)	澄川	13	作業道整備
6月7日(火)	リンゴ園	5	花摘み
6月8日(水)	リンゴ園	4	花摘み
6月9日(木)	当別オイスカ	8	下草刈り
6月10日(金)	澄川	14	作業道整備、遊歩道下草刈り
6月11日(土)	野幌	12	下草刈り
6月13日(月)	幹事会	10	定例会議
6月14日(火)	コンサ100年の森	順延	人手不足
6月14日(火)	野幌	4	間伐調査
6月15日(水)	リンゴ園	5	花摘み
6月16日(木)	リンゴ園	9	花摘み
6月17日(金)	澄川	17	木工、札幌市みどり推進課視察

■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・檀棒・酒井・高野・津金・釣井・西野(悌)・矢澤・和田

審議および決定事項

- 1 7月スケジュール調整
- 2 東北地方大震災防潮林視察報告
- 3 6月20・21日 CGCの森石狩地区森林ボランティア交流会の進め方
- 4 7月9日 ぶんぶんの森植樹祭の対応協議
- 5 森林ボランティアステップ・アップ事業の対応
- 6 委員会報告 広報 (HP 関連他) ・ 業務 (作業計画他)
助成 (申請状況他) ・ 研修・企画 (研修旅行、札幌市教育委員会訪問)
- 7 当別青山の補植の検討 (N:38本、L:76本)

■ お知らせ

◆ 2011年研修旅行

訪問先：東大演習林と安藤山林緑化(有)苗畑 (富良野)

説明者が付きますので東大生になったつもりで道内有数の天然巨木の森を満喫しよう。

日時：2011年8月30日(火)～31日(水) (1泊2日コース)

8月30日 8時30分 新札幌集合 (シェラトンホテル前の道路反対側)
昼食は各自持参、マイカー分乗 (6～7台) 分乗
尚、車は提供申込者の中から6～7台に限定させていただきます。
視察・研修は東大演習林研修見学。

宿泊先：ハイランドふらの

8月31日 9時00分 視察・研修(東大演習林)・昼食は用意します。
13時30分 同上(安藤山林緑化(有)苗畑)。
15時00分 富良野発 ⇒18時00分新札幌着 ⇒解散

参加費 10,000円/人・募集人数(20～25名)

※参加希望者は7月度作業参加申込書で7月10日までに申し込むこと。

◆ 2011年納涼祭(恒例ほたる観察会)

日時：2011年7月29・30日(野営・一泊2日コース)

場所：澄川都市環境林

行事内容：① セミナー イ. チェンソー伝達講習(加藤さん、田山さん、深町さん)
ロ. 東北震災調査報告(映像を中心に)(酒井さん)
ハ. 東大富良野演習林映像(和田さん)

DVD放映(荻田さん)

② 炭焼き(統括：高野さん) 早朝より火入り実施

③ 懇親の夕べ・ほたる観察会(統括：市山さん)

料理長：湯澤さん(湯澤シェフお任せメニュー)

問合せは事務局まで。